

AIが描く、未来のスマートファクトリー

取組みを始めた背景

販売計画に課題

- 計画精度の不足
市場の変化や需要の変動により、計画との乖離が発生している。
- 計画作成の非効率性
計画作成の遅延、ミス、連携不足が発生。
- 属人化
担当者の主観に頼った計画のため、客観的な評価が難しく、精度が安定しない。



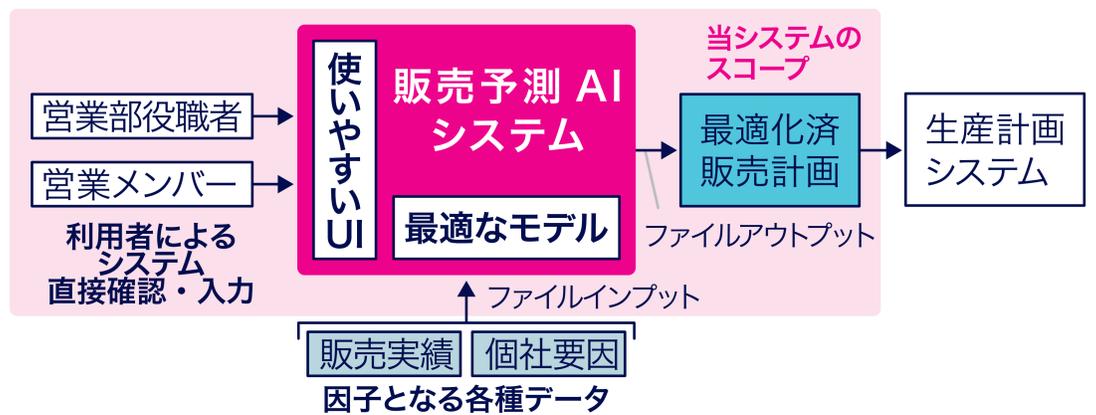
西精工 株式会社

高品質・高機能のパーツ・ナットの製造販売

取組み内容

AI を活用した受注予測モデルによる製品ごとの**最適な販売計画の作成システムを導入。**

作業負担の軽減、人為的ミスの削減、作業効率の大幅な向上を行い、創造性や戦略立案といった、付加価値の高い業務に集中できる環境を作る。



効果（成果）

- 1 受注予測・入力作業時間の削減【600時間⇒0時間（600時間/年削減）】**
 - 受注予測の精度（90%～91%）を保ったまま、工数の削減を達成！
- 2 計画作成の効率UP**
 - **遅延、ミスの低減**
- 3 属人化の低減**
 - 過去データをベースにしたAIによる客観的な計画が可能に。
 - 異動直後でも一定レベルの販売計画を立てられるように！



今後の取組み

販売計画作成システムの精度を向上

今回の販売計画(フェーズ1)に続くフェーズ2として、**AIを活用した生産計画作成システム**構築に取り組む

- 生産性：10%向上
- コスト削減：5,000万円規模
- 収益向上：年間1億円以上目標

顧客満足度向上を実現するとともに、経営資源の有効活用、人材育成の効率化、働き方改革、データに基づいた意思決定を達成！

